

2022年11月10日

各位

国立大学法人東京大学
三井住友信託銀行株式会社

ファミリービジネスに関する共同研究の開始について

東京大学大学院経済学研究科(研究科長:星岳雄)と三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山一也、以下「三井住友信託銀行」)は、ファミリービジネスに関する共同研究(以下「本共同研究」)を開始しましたので、お知らせします。

1. 本共同研究の趣旨・背景

ファミリービジネスに関する研究は欧米で活発に取り組まれています。日本のファミリービジネスに適合したガバナンス態勢は必ずしも確立されていません。ファミリービジネスには企業側のガバナンスであるコーポレートガバナンスとファミリー側のガバナンスであるファミリーガバナンスの2つがありますが、企業文化等が企業ごとに相違するなど、それぞれのファミリービジネスに合致したガバナンス態勢が求められています。

本共同研究ではファミリービジネスにおいてどのようなガバナンスが求められるかを明らかにし、実際にファミリービジネスを営む企業オーナーに理解され、具体的なガバナンス対策として活用されることを目指します。

2. 本共同研究の目的

ファミリービジネスを営む企業オーナーに対してファミリーガバナンスの意識を浸透させることにより、ファミリービジネスの存続・成長および地域エコシステムの再構築につなげる研究を行います。三井住友信託銀行は、本共同研究の成果を、ファミリービジネスの存続・成長に向けたファミリーガバナンス対策に活用することを考えています。

3. 研究体制

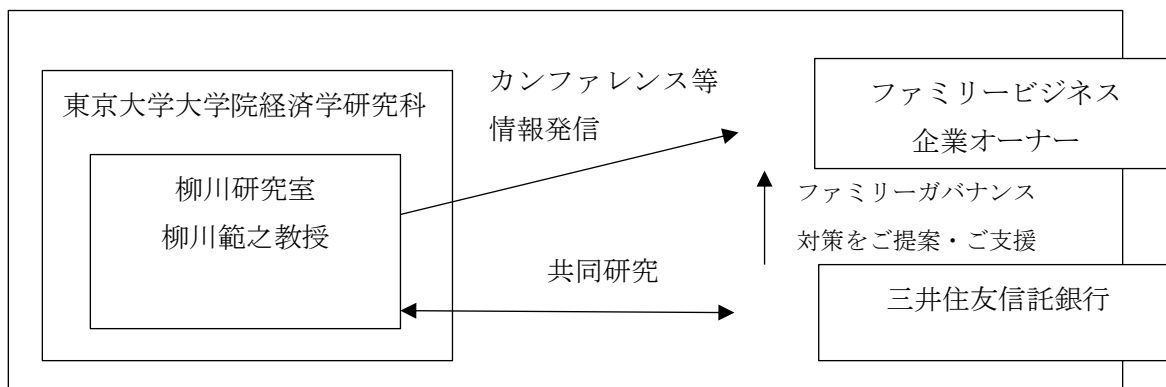
本共同研究は、東京大学大学院経済学研究科柳川範之教授をプロジェクトリーダーとし、三井住友信託銀行から共同研究員を派遣します。

4. 研究内容

本共同研究では、東京大学大学院経済学研究科柳川範之教授、ファミリービジネスを営む企業オーナー、ガバナンスを研究領域とする研究者、地域エコシステム再構築に関する有識者を招聘しております。ファミリーガバナンスおよびファミリーガバナンスを通じた地域エコシステムの再構築に関する企業オーナー向けのカンファレンス等を開催いたします。

また、本共同研究は研究期間を2022年10月～2023年3月として発足しておりますが、2023年4月以降の研究継続も視野に入れていきます。

東京大学大学院経済学研究科・三井住友信託銀行のファミリービジネス共同研究イメージ



<ご参考> 企業オーナー向けファミリービジネス・カンファレンス概要

場所	東京大学 小島ホールまたは第1セミナー室(オンライン併用) ※本郷地区キャンパス内(東京都文京区本郷7丁目3)
開催日時	2022年11月21日、同12月15日 2023年1月25日、同2月28日、同3月8日、同3月22日 ※いずれの開催日も時間は18:30~20:00を予定しています
講師(予定)	東京大学大学院経済学研究科柳川範之教授 ファミリービジネスを営む企業オーナー ガバナンスを研究領域とする研究者 地域エコシステム再構築に関する有識者

カンファレンス参加申込先:

東京大学大学院経済学研究科 柳川範之のウェブサイト

<http://noriyukiyanagawa.com/>

以上